

横浜みどりアップ計画 [2019-2023]

5か年の実績 概要 (2019年度～2023年度の実績)



青葉区寺家町

緑の減少に歯止めをかけ、「緑豊かなまち横浜」を次世代に継承するため、「横浜みどり税」を財源の一部として活用しながら、「横浜みどりアップ計画[2019-2023]」を実施しました。

このリーフレットは、2019～2023年度に実施した事業の実績を概要としてまとめています。



計画の柱1

市民とともに次世代につなぐ森を育む

樹林地の保全が進んでいます

5か年で176.9ha、計画開始以降15年間で新たに1,082.5haの樹林地を緑地保全制度により指定しました。計画開始前は40年間で861.9ha指定しており、3倍以上のスピードで保全が進みました。

これまでのみどりアップ計画
(2009～2018年度)

10年間 **905.6ha**

みどりアップ計画以前
(1969～2008年度)

40年間 **861.9ha**



2019～2023年度
176.9ha
+ **861.9ha** = **1,082.5ha**

- ▶ 緑地保全制度による新規指定 **176.9ha**
- ▶ 市による買取り **75.6ha**



下瀬谷特別緑地保全地区／瀬谷区

森に親しむための機会が広がっています

森に親しむことができるように、市民の森などを整備したほか、ガイドマップの作成や子ども向けのイベントを開催しました。

- ▶ 保全した樹林地の整備 **381か所**
- ▶ 市内大学や関係団体と連携したイベント、区主催による森でのイベント **382回**



間伐材を活用したクラフト教室／鶴見区



森の中のプレイパーク／南図書館／南区

樹林地の維持管理や安全の確保を市民協働で進めています

樹林地を良好かつ安全に維持管理するとともに、樹林地所有者に対しての維持管理費用の助成を行いました。

- ▶ 森の維持管理 **樹林地811か所、公園196か所**
- ▶ 維持管理の助成 **688件**



保全管理計画や森づくりガイドラインを活用した維持管理／泉区



樹林地所有者に対する維持管理支援作業前後／旭区



市民の森



～計画開始以降16か所の市民の森が開園～

横浜市では1971年に全国に先駆けて、緑地を保存しながら、その緑地を散策や憩いの場として公開する「市民の森」制度を創設しました。「市民の森」は計画開始前の27か所から16か所増え、現在43か所を公開しています。

～ボランティアの皆さんによる良好な森づくり～

市民の森では、愛護会や森づくり活動団体など、ボランティアの皆さんが、草刈り、間伐、生きもの調査や環境教育といった「森づくり活動」を行っています。



池辺市民の森／都筑区

「横浜みどりアップ計画 [2019-2023]」計画期間に開園した4か所の市民の森



長津田宿市民の森／緑区
2020年4月1日開園
クヌギやコナラを主とした広葉樹林が残り、コゲラやエナガ、シジュウカラなどの様々な鳥が生息しています。



市沢市民の森／旭区
2021年4月1日開園
緑陰や水辺の風景を楽しみながら散策ができるほか、ホタルや鳥類などを観察することができます。



名瀬・上矢部市民の森／戸塚区
2022年3月28日開園
コナラなどの広葉樹林からなる雑木林で、山裾沿いには竹林がみられ、昔ながらの里山の自然景観を楽しむことができます。



今井・境木市民の森／保土ヶ谷区
2022年4月1日開園
クヌギやコナラなどの広葉樹林と、スギやヒノキなどの針葉樹林が広がり、尾根道を歩くことで四季折々の緑の風景を楽しむことができます。



計画の柱2

市民が身近に 農を感じる場をつくる

良好な農景観を保全しています

市内の水田面積の約9割を保全し、農地縁辺部の草刈りや植栽等、周辺環境と調和した良好な農景観を維持・形成しました。

- ▶ 水田保全面積 **111.1ha**



水田の保全／青葉区



土砂流出防止対策／都筑区

農とふれあう場や機会が増えています

気軽に農体験ができる収穫体験農園や、自分で考えた栽培プランで自由に野菜づくりを楽しむことができる認定市民菜園など、市民ニーズに合わせた農園の開設を進めるとともに、市民が農について学ぶイベントや講座を実施しました。

- ▶ 様々なニーズに合わせた農園の開設 **19.8ha**
- ▶ 横浜ふるさと村、恵みの里等で農体験教室などの実施 **422回**



収穫体験農園／神奈川区



認定市民菜園／磯子区

地産地消が拡大しています

市民が身近なところで地産地消を実感できるよう、直売所・青空市等を支援しました。

- ▶ 直売所・青空市等の支援 **262件**



みなとみらい農家朝市／西区



柴シーサイド恵みの里直売所／金沢区



計画の柱3

市民が実感できる 緑や花をつくる

緑と花の空間づくりを進めています

公共施設や保育園など、市民の身近な場所で実感できる緑を創出・育成しました。

- ▶ 公共施設・公有地での緑の創出 **39か所**
- ▶ 保育園・幼稚園・小中学校での緑の創出 **203か所**



横浜子ども科学館／磯子区



保育園での緑の創出／港北区

緑や花で街の賑わいづくりを創出しています

多くの市民が集まる都心部等の公共空間などで、緑や花により街の魅力を向上させ、賑わいづくりを推進しました。

- ▶ 都心臨海部等の緑花による魅力ある空間づくりと維持管理 **71か所**



横浜市児童遊園地／保土ヶ谷区



山下公園／中区

市民や企業の皆さんと緑と花の取組を全区で進めています

地域が主体となり、地域にふさわしい緑を創出する計画をつくり、実現していくための「地域緑のまちづくり」を推進しました。オープンガーデンなどの市民が緑や花に親しむ取組を各区で推進しました。

- ▶ 地域緑のまちづくり **23地区**
- ▶ 緑や花を身近に感じる各区の取組 **18区で推進**



地域の花いっぱいにつながる取組／港南区



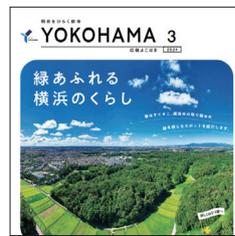
緑や花を身近に感じる各区の取組／栄区

効果的な広報の展開

みどりに関するイベントへの出展や、「広報よこはま」等への記事掲載、SNSなど様々な手法を用いて、幅広い年齢層にみどりアップ計画の取組と成果を知っていただけるよう広報を展開しました。



イベントでの広報



広報よこはま 令和6年3月号

計画の事業費と横浜みどり税 (5か年の累計)

5か年(2019~2023年度)の事業費
(うち横浜みどり税)



緑の減少に歯止めをかけ、「緑豊かなまち横浜」を次世代に継承するため、2019年度からの5か年の事業費434億円のうち、横浜みどり税を138億円充当し、市内の樹林地の買取り・維持管理等をはじめとした緑の保全・創出、育成に取り組みました。

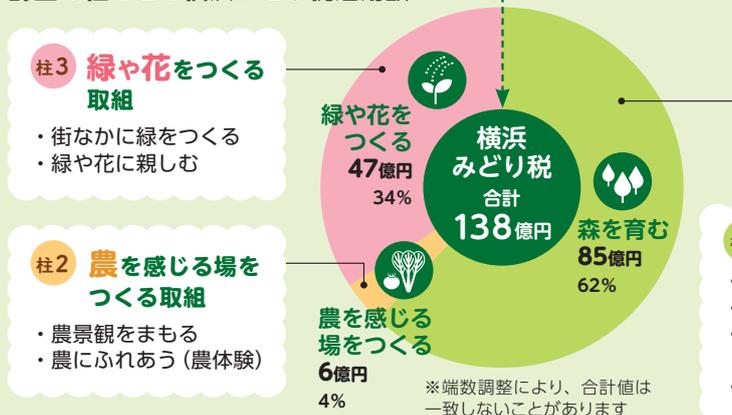
横浜みどり税の課税方式

【個人】市民税の均等割に年間900円上乗せ

※所得が一定金額以下で市民税均等割が課税されない方を除く

【法人】市民税の年間均等割額の9%相当額を上乗せ

計画の柱ごとの横浜みどり税活用額



柱3 緑や花をつくる取組

- ・街なかに緑をつくる
- ・緑や花に親しむ

柱2 農を感じる場をつくる取組

- ・農景観をまもる
- ・農にふれあう(農体験)

柱1 森を育む取組

- ・森を残す(指定・買取り)
- ・森を育む(維持管理など)
- ・森を育む人材の育成(活動に対する支援)
- ・森に親しむ(きっかけづくり)



横浜みどりアップ計画 市民推進会議の活動

横浜みどりアップ計画市民推進会議は、公募市民や学識経験者などから構成されている附属機関です。横浜みどりアップ計画の取組の検証や、現地調査を行い、評価・提案を報告書にまとめたほか、広報誌「YokohamaみどりアップAction」を9号発行しました。



Yokohama
みどりアップ
Action



詳しくはHPを
ご覧ください

実績報告書はHPを
ご覧ください。
区ごとの実績もご覧
いただけます。



横浜みどりアップ計画 検索

お問合せ

「横浜みどりアップ計画」の広報について

みどり環境局戦略企画課

TEL 045-671-2712 FAX 045-550-4093

「横浜みどり税」について

【個人市民税】各区区役所税務課または財政局税務課

TEL 045-671-2253 FAX 045-641-2775

【法人市民税】財政局法人課税課

TEL 045-671-4481 FAX 045-210-0481



横浜みどりアップ 葉っぴー

令和6年10月発行 横浜市みどり環境局戦略企画課



GREEN × EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月~9月 横浜・上瀬谷